

●ましがった字× ●よくわからないところ〰 ●小さい字になおす△ ●かんじにする□ ●字がぬけているく ●よくかけている○○○

我が市の誇り尼ロツク

岩本 聖来

2月に、国土交通省の人達があざあざぼく達のために竹谷小学まで授業しに来てくおました。そしてお兄ちゃんたちの話が始まった。お兄ちゃんたちの話は、むずかしかった。たからぼくには、全然あからなかつた。でも、ただ一つだけ、あかることがあつた。それは、それは、海面は、ぼく達の土地より高いから、尼ロツクは、海面より低いぼく達の土地を、守っているということがなによりあかつた。それで3月10日に尼ロツクへと、社会見学にいっくことになつた。前は、話とビデオだけだったから、そんなにあからなかつたから、突っさいに見れるときになるとあくあくしてたまらなかつた。それで尼ロツクを船で見にいった。ビデオで見るよりよくあかつた。この時思ったことは、正に「百聞は一見にしか

●一字さげる几 ●カタカナにする〃〃〃 ●とってしまふ〓 ●行をかえる― ●一ますあける⚡ ●行かえするな―

●まちがった字× ●よくわからないところ〰〰 ●小さい字になおす△ ●かんじにする□ ●字がぬけているく ●よくかけている○○○

す。だと思っ。た。そして、尼ロツクをぬけ、海
 へ出た。海は、広がった。そして、国土交通
 省の人たちの話を聞きながら、尼ロツクに
 かえっていった。で、よく考えて見れば、
 尼ロツクが、開くのと閉るのがか、なりあそ
 かった。だからこの時思った。
 これじゃ津波や、高潮に入られるのも無理な
 りあ、でも、国土交通省の人たちは、
 尼ロツクは、日本全体に、自まんできる。て
 め、てだから、頭の中がゴチガゴチヤにな
 っ。てようおかりんかった。そうざーと考えて
 た。船が止まり下りることになった。それ
 で松島ポンプ場に行くことになった。よ談あ
 るけどこの時聖来は、船よいしなかつた。そ
 して松島ポンプ場についてそれで松島ポン
 場には、大きなポンプがも台もあ。だから気
 にな。ってたまらなかつた。そして気になりな
 がらも、二階へと上がった。そして、お兄
 さんの話がはじまつた。お兄さんはなしは
 むら、くち、むずかしかつたけどあかるとこ

●一字さげる凡 ●カタカナにする〳〳〳 ●とってしまふ〳〳 ●行をかえる〳〳 ●一ますあける ●行かえするな〳〳

●まちがった字× ●よくわからないところ〰〰 ●小さい字になおす△ ●かんじにする□ ●字がぬけているく ●よくかけている○○○

ろがあつた。それは、このポンプ場の場所や
 ポンプの話だつた。
 エーとこの庄下川に雨がたまつて、ここにな
 がれてきて、このたて物の一階のポンプでき
 れいにして水量を調節して、ごみをながしこ
 の大きな川左門と川にはき出す。と、こうゆ
 うわけが。ぼくは、なんとなくわかつて、い
 まいちあからなかつた。ぼくは、ギョ思ひこ
 とがあつて、思ひきつてゆつてみた。
 なあ、なんでポンプがもつたんですか、な
 にか、理由あるんですか、というとお兄さん
 人。
 あんな、このポンプがもつたあれば、庄下川
 の水を全部すりこめんねんぞあつたか。
 ぼくは、それで、一ツギ門がとけた。そして、
 社会見学があたり、学校へとかえた。学校
 へとかえるバスの中、ぼくは、ぼんとうに残
 念におもうことがあつた。それは、尼口
 ツクの前にあつた。ボラードという、変な形
 のかつに、足をかけられなかつた、ことである。

●一字さげる凡 ●カタカナにする〳〳〳 ●とつてしまふ〳〳 ●行をかえる〳〳 ●一ますあける● ●行かえするな〳〳

